



大賞

ながの ぜき

長野堰を

語りつぐ会



同会は現高崎市に9世紀からある長野堰用水がこの地域の成り立ちや発展に極めて重要な役割を果たしていたことを独自の調査・研究によって明らかにし、またその事実を広く一般に周知するために冊子や映像資料、模型の作成及び展示会の開催等を通じて約10年間にわたって広報に努め、同用水の価値を市民に再認識させることに成功している。またその成果が同用水の2016年度「世界かんがい施設遺産」登録に大きく貢献したことも特筆すべきことであり、今後の高崎のまちづくりに欠かせない地域アイデンティティの一端を顕在化した極めて優れた取り組みとして高く評価するものである。



むら た けい いち
村田 敬一

大賞

同氏は本県の高등학교や教育委員会等に勤める傍ら、約40年以上にわたり県内の寺社建築や民家建築、産業遺産建築等の歴史的建築物について公私において調査・研究を進めるとともに、県文化財保護審議会委員や県内自治体の文化財調査委員等を歴任し、従来の建築・文化財行政や一般において十分でなかった歴史的建築物に対する啓発に取り組んできた。その成果は、国重要文化財3件を始めとする多数の文化財登録を実現し、近年では歴史的建築物の調査・改修に従事するNPOの指導を通じて後継者の育成にも携る等傑出しており、県内建築文化の醸成に大きく資する取り組みとして高く評価されるものである。

第6回 ぐんま 街・人・建築大賞

●主催：ぐんま 街・人・建築 顕彰会 ●後援：群馬県、群馬県市長会、群馬県町村会、前橋市

●協力：上越クリスタル硝子(株)、マックス(株)、(株)群馬銀行、(株)ホテルメトロポリタン高崎、(一財)倉瀬ふるさと公社「はまゆう山荘」

※「ぐんま 街・人・建築 顕彰会」は、(一社)群馬建築士会、(一社)群馬県建築士事務所協会、(一社)群馬県建築構造設計事務所協会、(一社)群馬県設備設計事務所協会、(公社)日本建築家協会関東甲信越支部群馬地域会、(一社)日本建築学会関東支部群馬支所の6団体で構成される組織です。

「ぐんま 街・人・建築大賞」は、私たちのぐんまがこれからも豊かで、創造性あふれる持続的な発展を続けるために、ぐんまに係わりのある優れた街づくりや建築活動、またそこで貢献されている人々に焦点をあて、その取り組みを顕彰し県民の皆様を知っていただくことで、取り組みへの支援と、ぐんま及びわが国の発展に寄与しようとするを目的とした顕彰制度です。

ここに、第6回を迎えた「ぐんま 街・人・建築大賞」の栄えある受賞者の皆様をご紹介します。

文化伝統賞

おおよぶ し まい ほ ぞんかい
大藪獅子舞保存会



同会が取組む大藪獅子舞は、吉岡町にある上八幡神社に1523年地元城主桃井播磨守が刀2振りと獅子舞を奉納したのが始まりと伝えられる、約500年間続く伝統芸能である。獅子舞の流派は稲荷流ササラ獅子で枝角を2本付けた竜頭の獅子が3頭連れて舞う珍しいもので、舞の数も30通りと多く、町の無形文化財にも指定されている。現代では希少とも言える多くの子供たちを含む地域の老若男女が参加する同会の隆盛な勢いに、将来にわたる良好な地域コミュニティの存続を期待するとともに、この由緒ある獅子舞の継承に対する不断の努力に敬意を表し、ここに「文化伝統賞」を贈るものである。

伝承者賞

いちかわ た へい
市川 太平



同氏は南牧村において農林業を営む傍ら半世紀以上にわたって独学で郷土の生活と文化を記録し、継承する活動に取り組んできた。昔のしきたりや民話等の聞き取り調査や中世の山城跡の踏査に始まり、南牧村郷土研究会や潮音大学といった任意団体を組織して勉強会や県内外への情報発信を行ない、また南牧村を題材とした小説・作詞・演劇等の創作活動も多数行なっている。さらに現在では観光客で賑わう行事となった「火とぼし」の国の選択無形民俗文化財指定にも携わる等、顕著な高齢化と人口減少に向き合う南牧村の文化継承において同氏を特筆すべき功労者と認め、ここに「伝承者賞」を贈るものである。